

2015年3月期 第3四半期 決算参考データ

2015年2月5日

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

本資料に記載されている業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、経済情勢をはじめさまざまな要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。

2015年3月期第3四半期 業績(前年同期比)

主な増減要因

	2013年度Q3 実績(累計)		2014年度Q3 実績(累計)		前年同期比	
	金額(億円)	利益率	金額(億円)	利益率	金額(億円)	伸び率
売上収益	2,320	—	2,558	—	+237	+10.2%
売上総利益	547	23.6%	603	23.6%	+56	+10.2%
その他の収益及び費用	▲ 452	—	▲ 449	—	+3	-0.7%
営業利益	94	4.1%	153	6.0%	+59	+62.4%
四半期利益	57	2.5%	97	3.8%	+39	+68.7%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	55	2.4%	95	3.7%	+40	+71.9%
受注高	2,377	—	2,478	—	+100	+4.2%
受注残高	1,826	—	1,875	—	+48	+2.7%

【売上収益】

携帯キャリア、郵便、コンビニ向け等の増加により増収。

【売上総利益】

増収により増益。

【その他の収益及び費用】

販売管理費が増加するも、その他の収益・費用の改善などにより減少。

【営業利益】

売上総利益の増加、その他の収益及び費用の減少により増益。

【受注高】

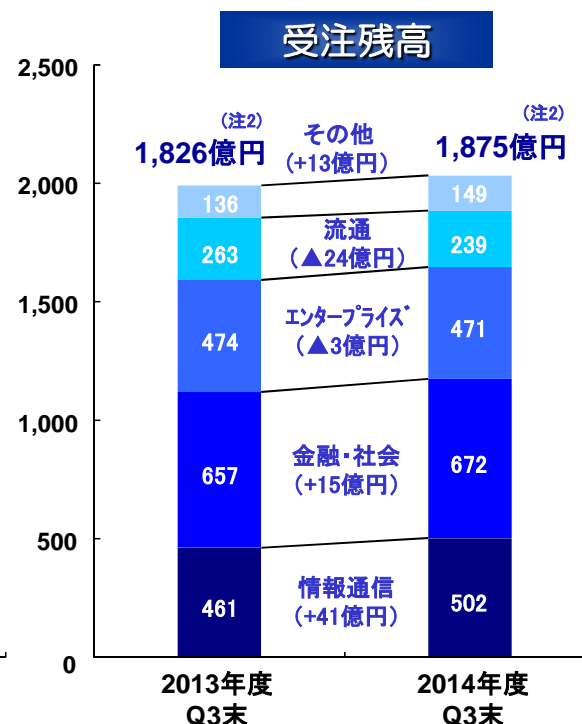
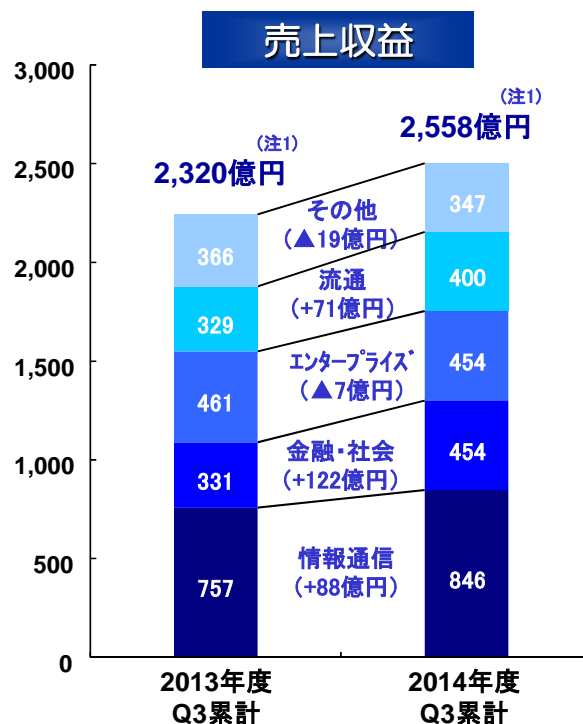
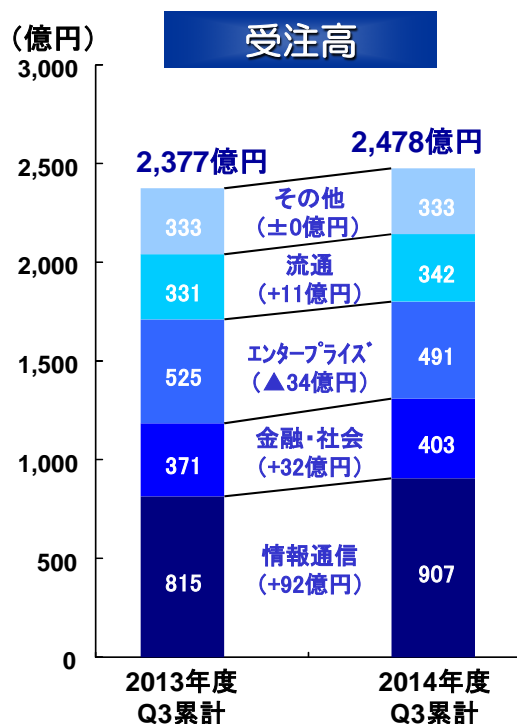
携帯キャリアやコンビニ向けを中心に増加。

【受注残高】

同上。

事業グループ別(前年同期比)

- 情報通信：携帯キャリア向けネットワーク増強案件により、受注・売上ともに増加。
- 金融・社会インフラ：受注は電力系通信会社向け案件などが増加。売上は郵便やメガバンク向け案件を中心に増加。
- エンタープライズ：受注は住宅関連及びネット関連企業向け案件が減少。売上は精密機械向け案件などが減少。
- 流通：受注はコンビニ向け案件を中心に増加。売上はコンビニや食品卸に加え石油卸向け案件が増加。
- その他：受注は横ばい。売上は国内事業会社で減少。



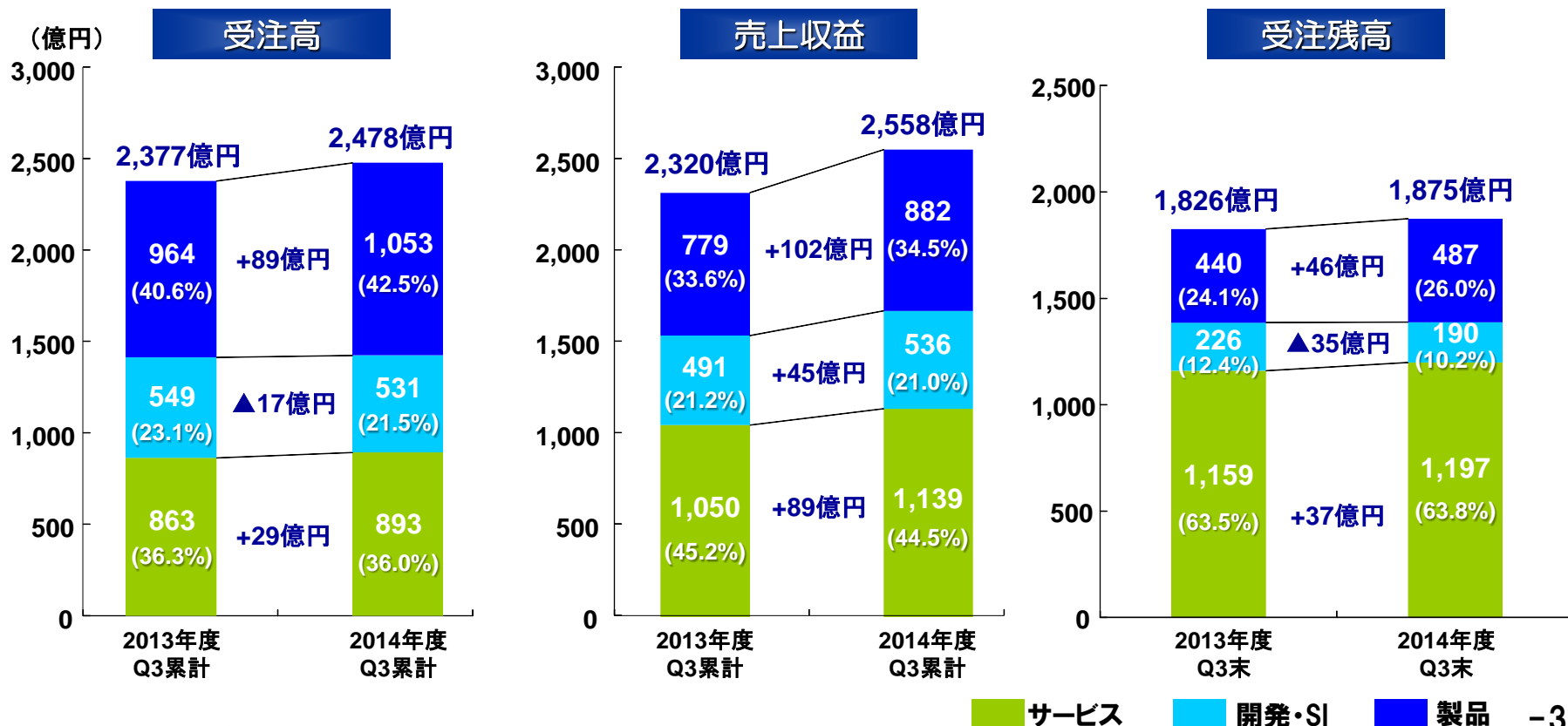
※売上収益、受注残高に関する注記

(注1) グラフに表記していないIFRS調整分：13年度+74億円、14年度+55億円を含む。

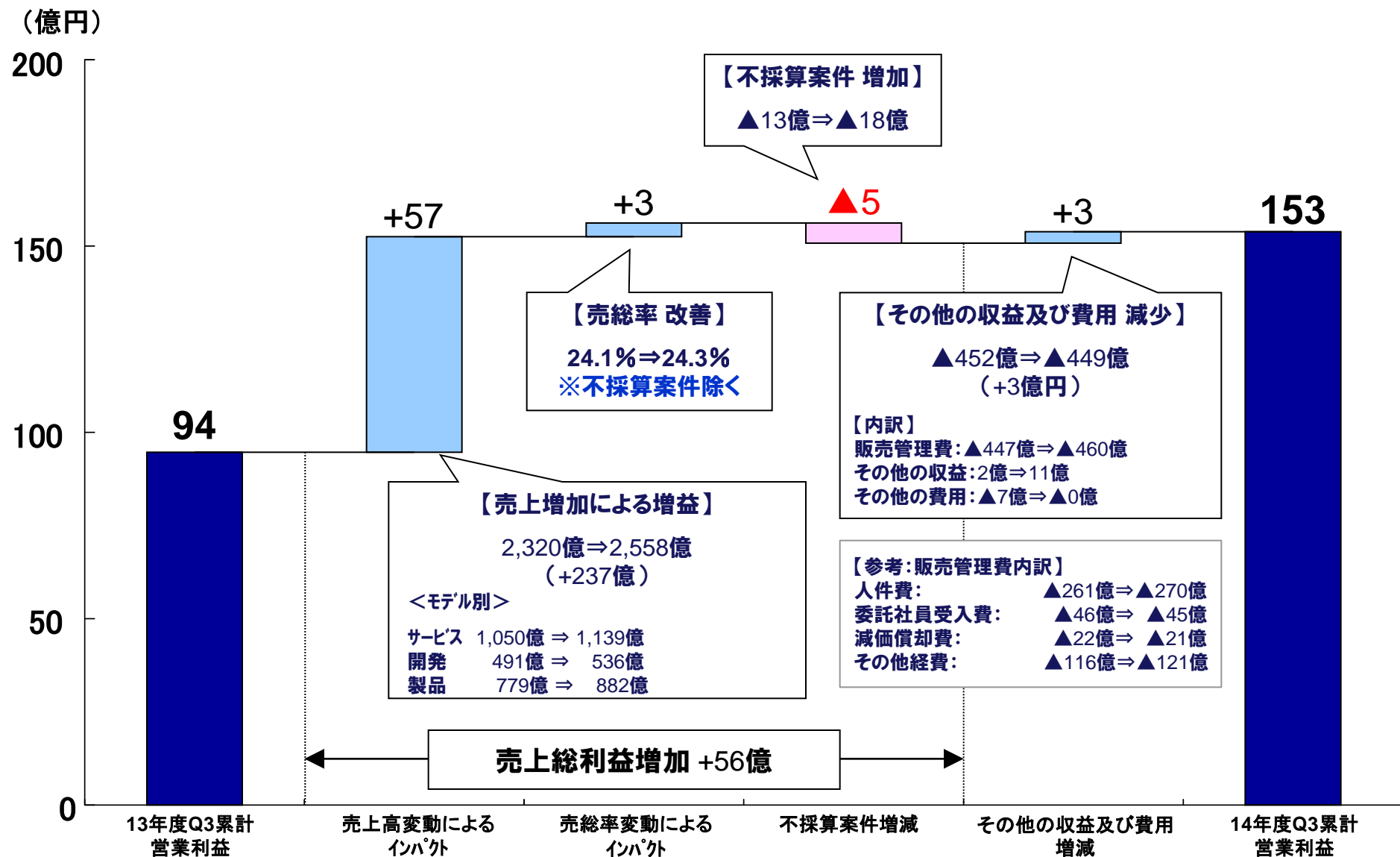
(注2) " :13年度▲167億円、14年度▲159億円を含む。

ビジネスモデル別(前年同期比)

- サービス:受注は携帯キャリア向けネットワーク設置・構築や、コンビニ向けシステム運用などが増加。
売上は郵便、携帯キャリア向け製品保守が増加。
- 開発・SI:受注はコンビニ、食品卸向け案件が減少。売上はメガバンク、郵便向け案件を中心に増加。
- 製品 :受注は携帯キャリア向けネットワークや、コンビニ向け店舗関連機器が増加。
売上は携帯キャリア、電力系通信会社向けネットワークなどが増加。



営業利益増減要因(前年同期比)



CTC

Challenging Tomorrow's Changes